

# 令和6年度 3年生シラバス

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	学年	コース・HR
地理歴史	地理探究	3単位	選択履修	3年(2,3年継続履修)	理系・地理探究の選択者
使用教科書	新詳地理探究(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)				
副教材	新詳地理資料 COMPLETE2023(帝国書院)・新地理要点ノート(啓隆社) ・データブックオブザワールド(二宮書店)				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、地域や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>	<p>地理に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚を深める。</p>

## 2. 学習方法

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業では、要点ノートや図表を活用しながら、特色や関連性を理解する。</li> <li>2 授業内容を復習し、小テスト等で確認する。</li> <li>3 問題集などの演習を活用して、単元ごとの復習と理解を深めるとともに、多面的・多角的視点から地理的事象を考察したり様々な課題を解決したりするための基礎力を身につける。</li> </ol>
--

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、地域や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。</p>	<p>地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。</p>

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	工業	・さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて理解している。	・さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	5 月				
	6 月	第3次産業	・経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようになっているかについて理解している。	・経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようになっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・第3次産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	7 月	交通・通信と観光	・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

令和6年度 3年生シラバス

2 学 期	9 月	人口、村落・都市	・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	10 月	生活文化、民族・宗教	・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	11 月	現代世界の諸地域	・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。	世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	12 月	共通テスト対策演習	・既習の知識や技能について理解している。	・地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現している。	・問題演習を通して主体的に学習しようとしている。
3 学 期	1 月	共通テスト対策演習	・既習の知識や技能について理解している。	・地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現している。	・地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現している。

5. 教科担当者より

- ・地理学習は『なぜそうなっているのだろうか』という視点を持って取り組むことが大切です。ニュースや新聞で報じられる世界の出来事を通じ、それらの自然・歴史的背景、社会的要因を日ごろから考察しましょう。
- ・知らない国や都市を目にしたら地図帳で必ずその場所を確認してください。地理の理解を深めるためには空間把握が大前提です。
- ・地形図や写真、統計データの特徴・変化を読み取ることは重要なポイントです。気づいたことや疑問点、略図などを書き込みながら学習を進めていくことこれらを読み取る力が身に付きます。

# 令和6年度 3年生シラバス

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	学年	コース・HR
地理歴史	地理探究	4単位	選択履修	3年(2,3年継続履修)	文系・地理探究の選択者
使用教科書	新詳地理探究(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)				
副教材	新詳地理資料 COMPLETE2023(帝国書院)・新地理要点ノート(啓隆社) ・データブックオブザワールド(二宮書店)				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、地域や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>	<p>地理に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚を深める。</p>

## 2. 学習方法

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業では、要点ノートや図表を活用しながら、特色や関連性を理解する。</li> <li>2 授業内容を復習し、小テスト等で確認する。</li> <li>3 問題集などの演習を活用して、単元ごとの復習と理解を深めるとともに、多面的・多角的視点から地理的事象を考察したり様々な課題を解決したりするための基礎力を身につける。</li> </ol>
--

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、地域や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。</p>	<p>地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。</p>

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	工業	・さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて理解している。	・さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	5 月				
	6 月	第3次産業	・経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようになっているかについて理解している。	・経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようになっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・第3次産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	7 月	交通・通信と観光	・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

令和6年度 3年生シラバス

2 学 期	9 月	人口、村落・都市	・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	10 月	生活文化、民族・宗教	・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	11 月	現代世界の諸地域	・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。	世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	12 月	共通テスト対策演習	・既習の知識や技能について理解している。	・地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現している。	・問題演習を通して主体的に学習しようとしている。
3 学 期	1 月	共通テスト対策演習	・既習の知識や技能について理解している。	・地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現している。	・地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現している。
	2 月	個別大学入試対策演習	・既習の知識や技能について理解している。	・地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現している。	・地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現している。

5. 教科担当者より

- ・地理学習は『なぜそうなっているのだろうか』という視点を持って取り組むことが大切です。ニュースや新聞で報じられる世界の出来事を通じ、それらの自然・歴史的背景、社会的要因を日ごろから考察しましょう。
- ・知らない国や都市を目にしたら地図帳で必ずその場所を確認してください。地理の理解を深めるためには空間把握が大前提です。
- ・地形図や写真、統計データの特徴・変化を読み取ることは重要なポイントです。気づいたことや疑問点、略図などを書き込みながら学習を進めていくことこれらを読み取る力が身に付きます。



教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
地理・歴史	日本史探究	3	選択履修	R6・3	日本史探究選択者（理系） （2・3年継続履修）
使用教科書	705 詳説日本史（日本史探究） 山川出版社				
副教材	新詳日本史（浜島書店）・要点整理ゼミナール日本史（浜島書店）				

## 1. 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

## 2. 学習方法

- 1 授業では、教科書や資料集、授業プリントを活用しながら、日本の歴史の流れや特色などを理解する。
- 2 一問一答集などを活用して、授業内容を復習し、小テスト等で確認する。
- 3 要点整理などの問題演習を活用して、復習と理解を深めるとともに、多面的・多角的視点から歴史を考察したり様々な課題を解決したりするための基礎力を身につける。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	○武家社会の成長	○守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。	○戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。	○15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。
		○近世の幕開け	○村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 ○桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったこ	○織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。  ○豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、	○時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。  ○桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見

		<p>とについて、諸資料から情報を読み取り、理解している。</p>	<p>多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>出そうとしている。</p>
<p>5 月</p>	<p>○幕藩体制の成立と展開</p>	<p>○織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。</p> <p>○幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。</p> <p>○諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。</p> <p>○産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。</p> <p>○都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。</p>	<p>○織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現している。</p> <p>○戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>○近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察し、そのつながりを見出そうとしている。</p> <p>○幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとしている。</p> <p>○幕藩体制が安定していく中で、経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。</p>
<p>6 月</p>	<p>○幕藩体制の動揺</p>	<p>○幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。</p> <p>○幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期における新たな学問の確立、各地に設立された教育機関の展開を理解している。</p> <p>○列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。</p> <p>○政治・経済と文化の関係などに着目して、19世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成について理解してい</p>	<p>○商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。</p> <p>○幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。</p> <p>○ま近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○政治・経済と文化の関係に着目して、宝暦・天明期における文化の展開について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出そう</p>

			る。		としている。
	7月	○近世から近代へ	○欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 ○政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。	○日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。  ○日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。	○日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。  ○幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。
	8月	○近代国家の成立	○明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 ○諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。	○諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。  ○国内体制を欧米の水準に合わせることを改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。	○明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。  ○自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。
2学期	9月	○近代国家の展開	○日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 ○第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ○ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。	○議会在戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。  ○大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。  ○大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。	○対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。  ○対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。  ○東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。
	10月	○近代の産業と生活	○産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。	○地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。	○産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。

		<p>○国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。</p> <p>○学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。</p>	<p>○学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。</p> <p>○都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。</p>
11月	<p>○恐慌と第二次世界大戦</p> <p>○占領下の日本</p>	<p>○国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。</p> <p>○政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。</p> <p>○戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。</p> <p>○第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。</p> <p>○占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。</p>	<p>○ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。</p> <p>○当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>○戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。</p>	<p>○当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。</p> <p>○現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。</p>
12月	<p>○高度成長の時代</p>	<p>○保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。</p> <p>○冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活</p>	<p>○日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・LT貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたら、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察</p>	<p>○55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。</p> <p>○高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつ</p>

		<p>や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。</p> <p>○ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。</p> <p>○冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。</p>	<p>したりして、その結果を表現している。</p> <p>○日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p> <p>○国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p>	<p>ながりを見出そうとしている。</p> <p>○第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。</p>
3 学 期	1 月	○全範囲 ○総復習（共通テスト次対策）		
	2 月			
	3 月			

5. 教科担当者より

日本史探究は、日本の歴史について「調べる」、「まとめる」、「考察する」といった主体的活動を通じて、さらによりよい社会の実現に向けて課題を探究する科目である。そして、これらの活動を通じて様々な情報に基づいて自ら考える力を養うことが求められる。また、先人たちの経験を現代社会に生かす学習でもある。指示を待つだけでなく、自ら考える力がより一層求められる時代を生き抜くためにも、これらの活動に積極的に取り組むことを期待する。

日本史の学習では、基礎的な知識が前提となってくるが、教科書等に取り上げられた諸史資料を活用し、知識を身につけるだけでなく、歴史を学ぶことで考える力を身につけてほしい。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
地理・歴史	日本史探究	4	選択履修	R6・3	日本史探究選択者（文系） （2・3年継続履修）
使用教科書	705 詳説日本史（日本史探究） 山川出版社				
副教材	新詳日本史（浜島書店）・要点整理ゼミナール日本史（浜島書店）				

### 1. 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

### 2. 学習方法

- 1 授業では、教科書や資料集、授業プリントを活用しながら、日本の歴史の流れや特色などを理解する。
- 2 一問一答集などを活用して、授業内容を復習し、小テスト等で確認する。
- 3 要点整理などの問題演習を活用して、復習と理解を深めるとともに、多面的・多角的視点から歴史を考察したり様々な課題を解決したりするための基礎力を身につける。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	○武家社会の成長	○守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。	○戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。	○15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。
		○近世の幕開け	○村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 ○桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情	○織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ○豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表	○時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。 ○桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。

		<p>報を読み取り、理解している。</p>	<p>現している。</p>	
<p>5月</p>	<p>○幕藩体制の成立と展開</p>	<p>○織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。</p> <p>○幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。</p> <p>○諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。</p> <p>○産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。</p> <p>○都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。</p>	<p>○織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現している。</p> <p>○戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>○近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察し、そのつながりを見出そうとしている。</p> <p>○幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとしている。</p> <p>○幕藩体制が安定していく中で、経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。</p>
<p>6月</p>	<p>○幕藩体制の動揺</p>	<p>○幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。</p> <p>○幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期における新たな学問の確立、各地に設立された教育機関の展開を理解している。</p> <p>○列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。</p> <p>○政治・経済と文化の関係などに着目して、19世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成について理解している。</p>	<p>○商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。</p> <p>○幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。</p> <p>○ま近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○政治・経済と文化の関係に着目して、宝暦・天明期における文化の展開について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出そうとしている。</p>

	7月	<p>○近世から近代へ</p>	<p>る。</p> <p>○欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。</p> <p>○政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。</p>	<p>○日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。</p>	<p>としている。</p> <p>○日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。</p> <p>○幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。</p>
	8月	<p>○近代国家の成立</p>	<p>○明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。</p> <p>○諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。</p>	<p>○諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○国内体制を欧米の水準に合わせることを改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</p>
2学期	9月	<p>○近代国家の展開</p> <p>○近代の産業と生活</p>	<p>○日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。</p> <p>○第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。</p> <p>○ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。</p> <p>○産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。</p> <p>○国家主義的な思想の形</p>	<p>○議会在が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。</p> <p>○大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○学校教育の必要性の説かれ</p>	<p>○対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。</p> <p>○東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。</p> <p>○明治期の文化に関わる政</p>



		<p>成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。</p> <p>○学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。</p>	<p>方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。</p> <p>○都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。</p>
10月	<p>○恐慌と第二次世界大戦</p> <p>○占領下の日本</p>	<p>○国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。</p> <p>○政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。</p> <p>○戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。</p> <p>○第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。</p> <p>○占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。</p>	<p>○ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。</p> <p>○当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>○戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。</p>	<p>○当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。</p> <p>○現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。</p>
11月	<p>○高度成長の時代</p>	<p>○保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。</p> <p>○冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わ</p>	<p>○日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・LT貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたら、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現</p>	<p>○55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。</p> <p>○高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしてい</p>

		<p>○激動する世界と日本</p> <p>る諸資料から情報を読み取っている。</p> <p>○ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。</p> <p>○冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。</p>	<p>している。</p> <p>○日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p> <p>○国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p>	<p>る。</p> <p>○第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。</p>
	12月	○全範囲	○総復習（共通テスト対策）	
3学期	1月	○全範囲	○総復習（共通テスト、私立、国公立二次対策）	
	2月	○全範囲	○総復習（私立、国公立二次対策）	
	3月			

5. 教科担当者より

日本史探究は、日本の歴史について「調べる」、「まとめる」、「考察する」といった主体的活動を通じて、さらによりよい社会の実現に向けて課題を探究する科目である。そして、これらの活動を通じて様々な情報に基づいて自ら考える力を養うことが求められる。また、先人たちの経験を現代社会に生かす学習でもある。指示を待つだけでなく、自ら考える力がより一層求められる時代を生き抜くためにも、これらの活動に積極的に取り組むことを期待する。

日本史の学習では、基礎的な知識が前提となってくるが、教科書等に取り上げられた諸史資料を活用し、知識を身につけるだけでなく、歴史を学ぶことで考える力を身につけてほしい。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
地理歴史	世界史探究	3	選択履修	R6・3	理系クラス(選択者) (2・3年継続履修)
使用教科書	704 詳説世界史(世界史探究) 山川出版社				
副教材	アカデミア世界史(浜島書店)・新世界史要点ノート(標準編)(啓隆社)・新世界史研究ノート(応用編)(啓隆社)・詳説世界史10分間テスト(山川出版社)				

## 1. 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会に有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。

## 2. 学習方法

- 1 授業では、ノートや資料集を活用しながら、各時代・地域の歴史の流れや特色などを理解する。またメモを取る。
- 2 10分間テストなどを活用して、授業内容を復習し、小テスト等で確認する。
- 3 研究ノートなどの問題演習を活用して、各時代や地域などのテーマごとの復習と理解を深めるとともに、多面的・多角的視点から歴史を考察したり様々な課題を解決したりするための基礎力を身につける。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に置いて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 4. 単元の学習計画(単元ごとの評価規準)

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	○アジア交易世界の興隆	○「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。	○「南蛮屏風」などの図像資料や鄭暁『今言』などの資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。	○アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追求してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
		○ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	○ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。	○ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追求してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

	<p>○オスマン帝国とサファヴィー朝</p> <p>○ムガル帝国の興隆</p> <p>○清代の中国と隣接諸地域</p>	<p>○オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。</p> <p>○ムガル帝国において非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのかを理解している。</p> <p>○清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。</p>	<p>○オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○ムガル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
<p>5月</p>	<p>○ルネサンス</p> <p>○宗教改革</p> <p>○主権国家体制の成立</p> <p>○オランダ、イギリス、フランスの台頭</p> <p>○北欧・東欧の動向</p>	<p>○ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。</p> <p>○新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。</p> <p>○主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。</p> <p>○オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。</p> <p>○北欧・東欧の各国の関係の推移や、それぞれにおける改革の内容を理解している。</p>	<p>○美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○「九十五か条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○覇権争いの経過や「権利の章典」などの資料をもとに、イギリスが覇権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○ロシア・プロイセン・オーストリアの状況を比較したうえで、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○北欧・東欧の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
<p>6月</p>	<p>○科学革命と啓蒙思想</p> <p>○産業革命</p>	<p>○科学革命と呼ばれる一連の変化がどのような背景で起こったのかを理解している。</p> <p>○産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。</p>	<p>○ルネサンスとの比較をふまえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○科学革命と啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>

	<p>○アメリカ合衆国の独立と発展</p> <p>○フランス革命とナポレオンの支配</p> <p>○中南米諸国の独立</p>	<p>○アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。</p> <p>○フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。</p> <p>○中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。</p>	<p>○アメリカ独立宣言や「権利の章典」(第11章4節)などの資料をもとに、アメリカ合衆国の独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○「旧体制」の風刺画など図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>ている。</p> <p>○アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
7月	<p>○ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動</p> <p>○列強体制の動揺とヨーロッパの再編成</p> <p>○アメリカ合衆国の発展</p> <p>○19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄</p>	<p>○19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。</p> <p>○19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。</p> <p>○南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。</p> <p>○19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。</p>	<p>○ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○19世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○19世紀欧米の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
8月	<p>○夏季補習 (問題演習)</p>			
2学期 9月	<p>○西アジア地域の変容</p> <p>○南アジア・東南アジアの植民地化</p>	<p>○オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。</p> <p>○ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。</p>	<p>○マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や変革について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○東南アジアの植民地化の地図やゴムやプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界</p>	<p>○西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○南アジア・東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>

<p>9月</p>	<p>○東アジアの激動</p> <p>○第二次産業革命と帝国主義</p> <p>○列強の世界分割と列強体制の二分化</p>	<p>○欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。</p> <p>○第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。</p> <p>○列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。</p>	<p>経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○文字資料「マカートニーの1794年1月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○第2次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
<p>10月</p>	<p>○アジア諸国の変革と民族運動</p> <p>○第一次世界大戦とロシア革命</p> <p>○ヴェルサイユ体制下の欧米諸国</p> <p>○アジア・アフリカ地域の民族運動</p> <p>○世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊</p>	<p>○アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。</p> <p>○第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。</p> <p>○第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。</p> <p>○第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。</p> <p>○世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。</p>	<p>○アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や蒋介石「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>

11月	<p>○第二次世界大戦</p> <p>○新しい国際秩序の形成</p> <p>○冷戦の展開</p> <p>○第三世界の台頭とキューバ危機</p> <p>○冷戦体制の動揺</p>	<p>○第二次世界大戦の対立の構造と勃発から終戦までの経緯を理解する。</p> <p>○第二次世界大戦の形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。</p> <p>○冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。</p> <p>○冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。</p> <p>○ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。</p>	<p>○戦場を写した画像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○各国の様子を写した画像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第2次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○1960年代の各地の様子を写した画像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○第三世界の台頭とキューバ危機について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○冷戦体制の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
12月	<p>○産業構造の変容</p> <p>○冷戦の終結</p> <p>○今日の世界</p> <p>○現代文明の諸相</p>	<p>○1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。</p> <p>○冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。</p> <p>○冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。</p> <p>○現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。</p>	<p>○原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○1990年前後の各地の様子を写した画像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○各地の状況を写した画像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○芸術作品を示した画像資料やジェンダー＝ギャップ指数を示した統計資料などをもとに、人々の世界観や生活のありよう変化を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○オイル＝ショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>

3 学 期	1 月	○総まとめ	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習
	2 月	○総まとめ	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習
	3 月	○総まとめ	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習

## 5. 教科担当者より

グローバル化や多様性が叫ばれている現代社会において、異文化理解（他者理解）は必須だと考えます。世界史にはその理解を世界規模で可能にする魅力があります。普段の学習に加えて、最新のニュースや新聞記事などに目を通すと、より一層理解が深まると確信しています。また、皆さんの現在の生活のルーツになっている事柄が多々あります。そのような「発見」も1つの魅力だと思います。ただ授業中に「聞くだけ」の姿勢ならば苦痛の時間になるはずです。「なぜ」「どうして」などの疑問を持ちながら、不明な点は極力作らないなど、授業に積極的に関わろうとする姿勢は必須です。興味を持ち、どれだけ反復する時間を持つことができるか。近道ではなく地道でも頑張ろうとする心意気を大切にしてください。時には人間の凄さを時には人間の愚かさを・・・沢山の人間ドラマと一緒に観察考察していきましょう。同時に自己の進路実現を見据えながら、各自で目標を持ち、根気強く最後まで前向きに取り組むことを期待します。



教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
地理歴史	世界史探究	4	選択履修	R6・3	文系クラス(選択者) (2・3年継続履修)
使用教科書	704 詳説世界史(世界史探究) 山川出版社				
副教材	アカデミア世界史(浜島書店)・新世界史要点ノート(標準編)(啓隆社)・新世界史研究ノート(応用編)(啓隆社)・詳説世界史10分間テスト(山川出版社)				

### 1. 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会に有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。

### 2. 学習方法

- 1 授業では、ノートや資料集を活用しながら、各時代・地域の歴史の流れや特色などを理解する。またメモを取る。
- 2 10分間テストなどを活用して、授業内容を復習し、小テスト等で確認する。
- 3 研究ノートなどの問題演習を活用して、各時代や地域などのテーマごとの復習と理解を深めるとともに、多面的・多角的視点から歴史を考察したり様々な課題を解決したりするための基礎力を身につける。

### 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野にいれて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 4. 単元の学習計画(単元ごとの評価規準)

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	○アジア交易世界の興隆	○「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。	○「南蛮屏風」などの図像資料や鄭曉『今言』などの資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。	○アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追求してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
		○ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	○ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。	○ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追求してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

	<p>○オスマン帝国とサファヴィー朝</p> <p>○ムガル帝国の興隆</p> <p>○清代の中国と隣接諸地域</p>	<p>○オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。</p> <p>○ムガル帝国において非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのかを理解している。</p> <p>○清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。</p>	<p>○オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○ムガル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
<p>5月</p>	<p>○ルネサンス</p> <p>○宗教改革</p> <p>○主権国家体制の成立</p> <p>○オランダ、イギリス、フランスの台頭</p> <p>○北欧・東欧の動向</p>	<p>○ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。</p> <p>○新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。</p> <p>○主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。</p> <p>○オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。</p> <p>○北欧・東欧の各国の関係の推移や、それぞれにおける改革の内容を理解している。</p>	<p>○美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○「九十五か条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○覇権争いの経過や「権利の章典」などの資料をもとに、イギリスが覇権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○ロシア・プロイセン・オーストリアの状況を比較したうえで、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○北欧・東欧の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
<p>6月</p>	<p>○科学革命と啓蒙思想</p> <p>○産業革命</p>	<p>○科学革命と呼ばれる一連の変化がどのような背景で起こったのかを理解している。</p> <p>○産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。</p>	<p>○ルネサンスとの比較をふまえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○科学革命と啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>

	<p>○アメリカ合衆国の独立と発展</p> <p>○フランス革命とナポレオンの支配</p> <p>○中南米諸国の独立</p>	<p>○アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。</p> <p>○フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。</p> <p>○中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。</p>	<p>○アメリカ独立宣言や「権利の章典」（第11章4節）などの資料をもとに、アメリカ合衆国の独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○「旧体制」の風刺画など図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
7月	<p>○ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動</p> <p>○列強体制の動揺とヨーロッパの再編成</p> <p>○アメリカ合衆国の発展</p> <p>○19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄</p>	<p>○19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。</p> <p>○19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。</p> <p>○南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。</p> <p>○19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。</p>	<p>○ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○19世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○19世紀欧米の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
8月	<p>○夏季補習 (問題演習)</p>			
2学期	<p>○西アジア地域の変容</p> <p>○南アジア・東南アジアの植民地化</p>	<p>○オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。</p> <p>○ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。</p>	<p>○マムルークの一扫を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や変革について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○東南アジアの植民地化の地図やゴムやプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的</p>	<p>○西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○南アジア・東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>

<p>9月</p>	<p>○東アジアの激動</p> <p>○第二次産業革命と帝国主義</p> <p>○列強の世界分割と列強体制の二分化</p>	<p>○欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。</p> <p>○第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。</p> <p>○列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。</p>	<p>に考察し表現している。</p> <p>○文字資料「マカートニーの1794年1月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○第2次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
<p>10月</p>	<p>○アジア諸国の変革と民族運動</p> <p>○第一次世界大戦とロシア革命</p> <p>○ヴェルサイユ体制下の欧米諸国</p> <p>○アジア・アフリカ地域の民族運動</p> <p>○世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊</p>	<p>○アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。</p> <p>○第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。</p> <p>○第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。</p> <p>○第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。</p> <p>○世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。</p>	<p>○アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>○政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や蒋介石「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>○アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>

11月	○第二次世界大戦	○第二次世界大戦の対立の構造と勃発から終戦までの経緯を理解する。	○戦場を写した画像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。	○第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	○新しい国際秩序の形成	○第二次世界大戦の形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。	○各国の様子を写した画像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。	○第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
11月	○冷戦の展開	○冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。	○先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。	○冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	○第三世界の台頭とキューバ危機	○冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。	○当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第2次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○第三世界の台頭とキューバ危機について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
11月	○冷戦体制の動揺	○ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。	○1960年代の各地の様子を写した画像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○冷戦体制の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	○産業構造の変容	○1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。	○原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○オイル＝ショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
12月	○冷戦の終結	○冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。	○1990年前後の各地の様子を写した画像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。	○冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	○今日の世界	○冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。	○各地の状況を写した画像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。	○今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
3学期	○現代文明の諸相	○現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。	○芸術作品を示した画像資料やジェンダー＝ギャップ指数を示した統計資料などをもとに、人々の世界観や生活のありよう変化を多面的・多角的に考察し表現している。	○現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	○総まとめ	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習
1月				

2 月	○総まとめ	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習
3 月	○総まとめ	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習

## 5. 教科担当者より

グローバル化や多様性が叫ばれている現代社会において、異文化理解（他者理解）は必須だと考えます。世界史にはその理解を世界規模で可能にする魅力があります。普段の学習に加えて、最新のニュースや新聞記事などに目を通すと、より一層理解が深まると確信しています。また、皆さんの現在の生活のルーツになっている事柄が多々あります。そのような「発見」も1つの魅力だと思います。ただ授業中に「聞くだけ」の姿勢ならば苦痛の時間になるはずです。「なぜ」「どうして」などの疑問を持ちながら、不明な点は極力作らないなど、授業に積極的に関わろうとする姿勢は必須です。興味を持ち、どれだけ反復する時間を持つことができるか。近道ではなく地道でも頑張ろうとする心意気を大切にしてください。時には人間の凄さを時には人間の愚かさを・・・沢山の人間ドラマと一緒に観察考察していきましょう。同時に自己の進路実現を見据えながら、各自で目標を持ち、根気強く最後まで前向きに取り組むことを期待します。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	学年	コース・HR
公民	倫理	2	選択履修	3	文系の選択者
使用教科書	高等学校 倫理(第一学習社)				
副教材	倫理ノート (第一学習社) 最新倫理資料集 (第一学習社)				

<p><b>学習の到達目標</b></p>	<p>人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</li> <li>自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。</li> <li>人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。</li> </ul>
-----------------------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりしている。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して、学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり、他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて、多面的・多角的に考察しようとしたりしている。

単元の学習計画 (単元ごとの評価規準)

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	1 青年期の課題と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の特質とは何かを理解している。</li> <li>人間がどのように感じ、学び、考え、行動し、発達するかに関して、心の仕組みと成り立ちを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考えている。</li> <li>様々な人間の心のあり方を踏まえて、人間とは何かを思索し、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な人間の心のあり方について、科学的に探究した各種の実験や観察、調査に基づく統計的な分析の結果を読み取ったり、対話や作文などを通して学習を深めたりしている。</li> </ul>
	5 月	1 ギリシアの思想 2 ユダヤ教とキリスト教 3 イスラーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代ギリシアに見られる先哲の基本的な考え方が、理性的な人間観に支えられていることを理解している。</li> <li>イエスの思想をユダヤ教と対比させて、神の愛・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソクラテスの「無知の知」やプラトンのイデア論はどのようなものであるか、両者を比較しながら考察している。</li> <li>「ソクラテスのことば」から、「よく生きることこそ大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソクラテスの言行やプラトン、アリストレスの思想、ヘレニズムの思想から、人生への問いや人間の存在や価値について、自己の課題と結び付けて思索している。</li> </ul>

			<p>律法の内面化という視点を中心に理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラームはどのようにして誕生したか、ムハンマドの教えにはどのような特徴があるのか、ユダヤ教やキリスト教とはどのように関係するかを理解している。</li> </ul>	<p>切である」という彼の信念を読み取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原罪や恩寵の思想に見られるキリスト教の人間観について、自己の課題と重ね合わせて思索している。</li> <li>・『クルアーン』について、日常生活で行うことまで規定していることを読み取れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イエスの言行やパウロ、古代中世のキリスト教の思想から、人間をどのように捉え、どのように生きることを指し示しているかについて、多様な倫理に関する諸概念を踏まえながら自己の課題と結び付けて思索している。</li> <li>・メッカの方向を調べるなどして、イスラームの基本的教義(六信・五行)を実感している。</li> </ul>
	6月	<p>4 仏教 5 中国の思想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インドの人々は、どのような死生観をもっているかを理解している。</li> <li>・ゴータマの教えは、深い思索を続ける生き方そのものであることを理解している。</li> <li>・中国の人々の自然観・人生観を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本になじみの深い宗教である仏教の教えを知り、仏教思想の現代的な意義はどこにあるのかを考察している。</li> <li>・仁や礼の言説を取り上げ、人間についての見方や、望ましい人間関係を築きながらどのように社会生活を送るかについて、自己の課題と結び付けて思索を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仏教が人間をどのように捉えているか、どのように生きることを目指しているかについて、多様な倫理に関する諸概念を踏まえながら、自己の課題と重ね合わせて思索している。</li> <li>・儒教が人間をどのように捉えているか、どのように生きることを目指しているかについて、多様な倫理に関する諸概念を踏まえながら自己の課題と結び付けて思索している。</li> </ul>
	7月	<p>1 人間の尊厳 2 科学革命の時代と自然観</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネサンス期の思想家やモラリストたちの思索を通して、西洋の近代人は、人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを理解している。</li> <li>・近代の科学は、どのような背景から生まれてきたのかを理解している。</li> <li>・ベーコンやデカルトの著作を読み、自然は人間の手によって操作できるとする新しい自然観を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会において人間の尊厳を自覚することの意義について考察している。</li> <li>・経験論と合理論の考え方の特色はどこにあるのかを、自己の課題とつなげて考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベーコンやデカルトの科学的な考え方を踏まえ、科学技術の発達と自然との共生について主体的に考えている。</li> </ul>
	8月				
2学期	9月	<p>3 自由で平等な社会の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会契約説は、人間をどのように捉え、どのような社会を理想としたのかを理解している。</li> <li>・現在の政治的自由は、ヨーロッパ近代の市民革命を基礎づけた思想家たちの考えに基づくことを理解している。</li> <li>・カントやヘーゲルの思索の内容を整理して理解している。</li> <li>・ベンサムやミルの幸福に対する考え方の違いを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代ヨーロッパの社会契約説を通して、民主社会の成り立ちを理解し、民主社会を実現した社会契約の思想について、多面的・多角的に考察している。</li> <li>・西洋近代の思想家たちは、自由の実現についてどのように考えたのか、多面的・多角的に考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・功利主義の思想からよく生きるとはどういうことかを理解し、自分自身の生き方につなげて思索している。</li> </ul>



<p>10月</p>	<p>4 人間性の回復と主体性の確立 1 現代の思想と人間像</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実存主義が追究した生き方とはどのようなものかを理解している。</li> <li>・生の哲学と現象学、構造主義・言語哲学など、現代思想の特徴を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会主義の変遷をもとに、自由で平等な社会について考察している。</li> <li>・主体的なあり方は、努力を伴う生き方であることを、実存主義の思想から考察している。</li> <li>・現代の思想は、それまでの思想からどのような影響を受け、それらをどのように乗り越えようとしているかを考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・略伝や原典資料を活用して、思想家の人生をたどりながら思想内容を主体的に学んでいる。</li> <li>・ロールズ、センらの思想から、私たちは何を学ぶことができるかを考察し、これからの生き方につなげようとしている。</li> </ul>
<p>11月</p>	<p>1 日本の風土と伝統 2 外来思想の受容 3 町人思想のめざめと庶民思想 4 西洋思想との出会い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教が日本にどのように伝えられ、どのように変容していったのか、その大きな流れを理解している。</li> <li>・法然、親鸞、一遍、栄西、道元、日蓮に関する資料を収集し、鎌倉仏教の各宗派の教義や特色を理解する。</li> <li>・義理と人情の観念、国学が提唱した人間尊重の思想、現代に流れる庶民思想は、どういうものかを理解している。</li> <li>・幕末の思想の特質や、文明開化が日本の伝統社会にどのような変化をもたらしたのかを理解している。</li> <li>・日本の近代思想がどのように展開していったのかを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の意識や心情の底流となっている物事の捉え方、望ましい対人関係を考察している。</li> <li>・日本人の価値意識と儒教との関連について理解し、正の部分、負の部分とともに検討する。</li> <li>・義理と人情、儉約と正直、勤労の倫理など、現代に流れる思想に対する興味・関心を高め、日本人の庶民思想や勤労倫理の特質はどこにあるのかを考察している。</li> <li>・国学の思想と私たちの考え方で、共通するところ、異なるところ、共感するところなどを考察している。</li> <li>・日本人のものの見方・考え方の中で、西洋思想の受容によって形成されたと考えられるものについて資料を収集し、国際社会に生きる日本人としての生き方・考え方を考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古来の日本人の心情と考え方をもとに、国際社会に生きる日本人としての人間観、自然観、宗教観などの特質について、主体的に考えている。</li> <li>・外来思想の受容をもとに、国際社会に生きる日本人としての人間観、自然観、宗教観などの特質について、主体的に考えている。</li> <li>・国学や江戸時代の庶民の思想をもとに、国際社会に生きる日本人としての人間観、自然観、宗教観などの特質について、主体的に考えている。</li> <li>・日本思想のまとめとして、国際社会に生きる日本人として、これからの自分の生き方やあり方について主体的に考えている。</li> </ul>
<p>12月</p>	<p>1 生命の問題と倫理課題 2 地球環境の問題と倫理的課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学や医療技術の発達を踏まえ、生命の誕生、老いや病、生と死の問題などを通して、生きることの意義を思索している。</li> <li>・探究した結果を、「自分の考えをまとめる」「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。</li> <li>・人間の生命は自然の生態系の中で植物や他の動物との相互依存関係において維持されており、共存関係が大切であることについて思索している。</li> <li>・探究した結果を、「自分の考えをまとめる」「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学や医療技術の発達を踏まえ、生命の誕生、老いや病、生と死の問題などを通して、生きることの意義を思索している。</li> <li>・探究した結果を、「自分の考えをまとめる」「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。</li> <li>・人間の生命は自然の生態系の中で植物や他の動物との相互依存関係において維持されており、共存関係が大切であることについて思索している。</li> <li>・探究した結果を、「自分の考えをまとめる」「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命をめぐる問題となっている事例を収集し、主体的に解決しようとしている。</li> <li>・地球環境をめぐる問題となっている事例を収集し、主体的に解決しようとしている。</li> </ul>

3 学 期	1 月	3 科学技術の 進展と倫理的課 題	[問題演習]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学技術の進展を踏まえ、AIをはじめとした先端科学技術の利用と人間生活と社会のあり方について思索している。</li> <li>・探究した結果を、「自分の考えをまとめる」「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学技術をめぐる問題となっている事例を収集し、主体的に解決しようとしている。</li> </ul>
	2 月				
	3 月				

教科担当者より

倫理と云えば哲学的な内容ばかりで、つまらない・退屈だという意識が先にたつかもありません。ですが、「この世の真理」であるとか、「何のために生きるのか」とか、「どこまで世界を知ることができるのか」とか、「この世界における正しい生き方」とか、「生きていることに意味があるのか」とか、スケールの違いさえあれ、誰もが一度は考えたようなことをやっていく授業です。面白いもので、時代や国や民族や宗教が違うのに、言葉（用語）は違うけど結局あれ？これって同じようなことってない？というのがよくでてきます。人間ゆえの共通部分や違いを感じてもらえればと思います。わずか1年間にも満たない授業ですが、延べ300人以上の人物を扱います。これってすごいと思いませんか？

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
公民	政治・経済	2	選択履修	R6・3	文系クラス
使用教科書	701 政治・経済 東京書籍				
副教材	公共（浜島書店）				

1. 科目の目標

<p>社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。</p> <p>よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。</p>
---

2. 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースや新聞等を通じて時事的な問題に関心を持つこと。</li> <li>・レポート作成活動を通じて自分の意見を深めることに努める。</li> <li>・自己の生活と政治的、経済的な諸課題についての関連を理解する</li> </ul>
---

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p>	<p>合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題について考察し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。</p>	<p>よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。</p>

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	現代日本の政治	○政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	○個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	○現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	5月	民主政治の基本原理	○民主政治への道のりと現代の民主政治,法と民主政治,基本的人権の確立と国際化,世界のおもな政治体制について理解している。	○法や人権,少数派などの観点に着目し,よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し,表現している。	○現代の日本政治について,よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	6月	日本国憲法の制定と基本原理	○大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解している。 ○考察,構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。	○憲法改正に関する議論について多面的・多角的に考察している。 ○理解したこと,考察したことなどを適切な方法で表現している。	○大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴や,憲法改正に関する議論について主体的に追究し,よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	7月	日本の政治機構	○国会の権限や運営,内閣の機能と国会との関係,司法権の独立の必要性や裁判のしくみ,地方自治の運営と住民の権利について理解している。 ○考察,構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。	○国会,内閣,裁判所,地方自治それぞれで行われた改革に着目し,日本の政治機構にはどのような課題があり,どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し,表現している。	○現代の日本政治について,よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	8月	○夏季補習 (問題演習)			
2 学 期	9月	現代日本の経済	○経済活動と市場,経済主体と経済循環,国民所得と経済成長,物価と景気変動,財政のしくみと役割および租税などの意義,金融のしくみと機能について,現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ○現代日本の経済に関する諸資料から,課題の解決に向けて考察,構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。	○個人の尊厳と基本的人権の尊重,対立,協調,効率,公正などに着目して,経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界,持続可能な財政および租税のあり方,金融を通じた経済活動の活性化について,多面的・多角的に考察,構想し,表現している。	○現代の日本経済について,よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	10月	日本経済の発展と現状	○戦後日本経済の発展と,日本経済の現状について理解している。 ○考察,構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。	○現在の日本経済が抱える課題に着目しながら,戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し,表現している。	○現代の日本経済について,よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	11月	現代日本の諸課題	○現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について,課題の解決に向けて考察,構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。	○少子高齢社会における社会保障,地域社会の活性化,多様な働き方・生き方の実現,中小企業の意義と課題,日本財政の健全化,持続可能な食料・農業の実現,防災と安全・安心な社会の実現などについて,取り上げた課題の解決に	○現代日本における政治・経済の諸課題について,よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし,合意形成や社会参画に向かおうとしている。

				向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
	12月	現代の国際経済	<p>○貿易の現状と意義, 為替レートの変動, 国民経済と国際収支, 国際協調の必要性や国際経済機関の役割について, 現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <p>○現代の国際経済に関する諸資料から, 課題の解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し, 読み取り, まとめている。</p>	個人の尊厳と基本的人権の尊重, 対立, 協調, 効率, 公正などに着目して, 相互依存関係が深まる国際経済の特質および国際経済において果たすことが求められる日本の役割について, 多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	現代の国際経済について, よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
3学期	1月	国際社会の諸課題	○国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について, 課題の解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し, 読み取り, まとめている。	○グローバル化にともなう社会変容, 地球環境と資源・エネルギー問題, 国際的な経済格差の是正, イノベーションの促進と成長市場, 民族問題と紛争の解決, 持続可能な社会の実現などについて, 取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	○国際社会における政治・経済の諸課題について, よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし, 合意形成や社会参画に向かおうとしている。
	2月	○総まとめ	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習
	3月	○総まとめ	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習	習得した内容を基に共通テスト、私立大学、国公立大学の問題演習

5. 教科担当者より

日ごろからメディアで報道される時事的な課題に関心をもち、調べたり論点を見いだしたりすることに努めること。客観的な資料にもとづいて、諸課題を考察し、解決のあり方を模索する態度を身につけること。

# 令和6年度 3年生シラバス

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	学年	コース・HR
公民	現代社会 研究	1単位	選択 履修	3年	文系
使用教科書	自主教材				
副教材	新聞など				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解する。諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や基本的原理を活用して、公正に判断する力や社会参画を視野に入れた議論をする力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

## 2. 学習方法

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業では、新聞やタブレットを利用しながら、社会問題への理解を深める。</li> <li>2 日常的に新聞やニュースを見聞する。</li> <li>3 2年次科目「公共」の基礎的知識の復習を行う。</li> </ol>
---

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
諸課題の要因を理解するために2年次科目「公共」で学んだ基礎的な知識をいかしながら、提示された資料を適切に処理することができる。	現代社会が抱える諸課題について関心を深めるとともに、問題解決を図るための自分の考えを資料にまとめ、それを適切に表現したり、議論したりすることができる。	現代社会に関わる諸問題について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	少子高齢化社会	・少子高齢化社会が及ぼす影響について考え、どのような対策をしているのかについて理解している。	・少子高齢化社会が及ぼす影響について考え、どのような対策をしているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・少子高齢化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	5 月	国際化社会	・国際化社会が及ぼす影響について考え、どのような対策をしているのかについて理解している。それに関連する資料を適切に作成する。	・国際化社会が及ぼす影響について考え、どのような対策をしているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・国際化社会について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	6 月		情報化社会	・情報化の功罪について考え、どのような対策をしているのかについて理解している。それに関連する資料を適切に作成する。	・情報化が及ぼす影響について考え、どのような対策をしているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。
	7 月	政府のあり方	・大きな政府、小さな政府について理解をしている。また、今後どのような政府のあり方が望ましいかについて考え、それに関するレポート作成する。	・今後どのような政府のあり方が望ましいかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・大きな政府、小さな政府について理解をし、現在の政府のあり方について主体的に課題を追究しようとしている。

令和6年度 3年生シラバス

2 学 期	9 月	社会保障	・財政問題について理解をしている。また、今後どのような対策が望ましいかについて考え、それに関するレポート作成する。	・財政問題を社会保障の面から考え、今後どのような対策が望ましいか多角的・多面的に考察し、表現している。	・財政問題について理解をし、今後の対応について主体的に課題を追究しようとしている。
	10 月				
	11 月	労働問題	・現在の労働問題について理解している。また、労働問題についての対策について考え、レポートを作成する。	・労働問題から労働の意義を考え、労働に対して自己のキャリア形成について考察し、表現している。	・労働の意義について主体的に考察し、追究しようとしている。
	12 月	共通テスト対策演習	・既習の知識や技能について理解している。	・現代社会の諸問題について多面的・多角的に考察し、表現している。	・問題演習を通して主体的に学習しようとしている。
3 学 期	1 月	共通テスト対策演習	・既習の知識や技能について理解している。	・現代社会の諸問題について多面的・多角的に考察し、表現している。	・問題演習を通して主体的に学習しようとしている。
	2 月	個別大学入試対策演習	・既習の知識や技能について理解している。	・現代社会の諸問題について多面的・多角的に考察し、表現している。	・問題演習を通して主体的に学習しようとしている。

5. 教科担当者より

ニュースや新聞に目を通し、地域社会や国内で何が起きているか、また、そのことが自分の生活にどのような影響をもたらすのか、ということに関心を持つことが重要である。